2012年3月10日

価 1部140円(本体133円**干**共200円)

1年分 〒共 紙代のみ 5,000円 3,500円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団

169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546 FAX03(3207)3918

> 藤 留 幸 編集主筆 竹 澤 知代 志印刷所 株式会社きかんし 竹 澤 知代志

> > 第3総会期第5回常議員

探し出し救うことを実感し



-明確化推進小委員会報告に当たる高橋潤委員長

国キリスト教連絡協議会

外登法問題と取り組む全

(外キ協) が、1月26~28

在日韓国YMCAを会

神を探し出し救いを見出す なったことが述べられた。 感したこと、その体験が聖 が神の国の食卓であると実 共に与った体験から、それ 外に瀕した兄弟への

聖餐に 言葉は、悲惨な現実の前で の根拠が神にあることを教 を宣告された実母と過ごし **餐のありように拘る理由と** 記教は始まり、

献身前に、 しろ無力な言葉なのか、と また、膵臓癌で余命半年 題を投げ掛けることから 神が私たちを 救いの確かさ む り組むためにも積極的にN ていくという緊急課題と取

という意味の答弁をした。 的意見が多く述べられた。 現状容認になる等の、批判 負担金はどうなるのか、議 来の対NCC対応と違う、 なった」ことが報告された。 CCに協力して行くことに 内藤留幸総幹事は、責任的 長等を送ることはNCCの 担いながら改革に当たる これに対して、ここ数年

会議室で開催された。 マの信徒への手紙8章26~ 恒例となった開会礼拝で 『万事が益となる』という 岡村恒常議員が、ロー それに譲ることとし、 のことが、報告承認を超え 陪席者も大方が出席した。 全員出席し、各教区議長、 め信徒1名が欠席した他は で教職1名、葬儀列席のた 主な項目を記す。 や議案と重複することは、 て議論になった。他の報告 **常設委員会委員長など要請** 総幹事報告では、幾つか 常議員はインフルエンザ 学

り下げられ、現行規則に基 組織にするとの改革案が取 ことが決まった」こと、「日 新議長と総幹事を選出する なった」こと、「教団から 策室(JEDRO)を整え 本大震災を担う震災救援対 NCCについて、「理事会 いて活性化を図ることと ことなど補足説明がなされ 働きを祈りに覚えた。

読によって報告され、

が示され、高橋潤委員長よ 教団センター監査規定(案) 教団センター会計基準案、 ンター設置規則(案)、セ ンター細則(モデル) 員会の報告がなされた。セ センター明確化推進小委 案

法の制定を巡る全国キリス とが、追加報告された。 で被災した人たちへの救援 報告された。質問に答えて、 外キ協)となった」ことが 協力が懸案となっているこ 名の氏名が、一人ひとり朗 た逝去教師17名・宣教師4 の一人であること、外国籍 卜教連絡協議会(通称:新 前常議員会以降に召され その

と称する。②教会経常収入 次のように上げられた。 区活動連帯金配分協議会で った。9年に開催された教 会報告を巡って、激論とな 教区活動連帯金検討委員 2

た後、質疑応答があった。 案、教規改正をも内容とし 間を費やした後、委員会報 ターの経営の見通しや、破 まで多岐にわたり、関心の 規則条文の表現に至る詳細 議員会での継続審議扱いと 告ではあったが、具体的提 にまで質疑は及び、長い時 綻した場合の責任について 質疑は、その基本姿勢から、 ているため、次回7月の常 高さが表れた。個々のセン

を通して各個教会の伝道プ ける (B資金)、//3を教区 ロジェクトのために、また 用地購入資金として貸し付 基金をつくり、教会の会堂 いること、13を原資として 金)、教区活動資金として用 区に於いて留保し(A資 活動のために用いる(C資 この資金の負担金の1/3を教 この提案に対しては、 また、提案の項目20では、

を行う。

え方或いは表現への抵抗を ば一つの方策だが、委員会 の前提にはないと答えた。 また、伝道推進という考

岡本委員長は、これらの

制度そのものの矛盾

の権限について危惧する意

の伝道活動についても、 をも募ることとする。 進室」を設け、上記の活動 を行う。⑤教団に「伝道推 の自主性を尊重しつつ支援 会の伝道活動を下支えする 1%を原資とし、他に献金 ことを目的とする。④教区

制度化しないというのなら

賛 ない教会には、役に立たな 画を持てる教会には応援は 新プロジェクトを発案推進 こそがその生命線であり、 った。必死に零細な教会を 口にする教区議長が複数あ する余裕はないことを訴え 守っており、教職謝儀援助 同様に、自前の伝道計 だす意見、伝道室特に室長 きれるなら良いが、それが て、新制度の不明な点をた 出来ないという前提に立っ 異論に対して、守って守り を指摘する意見もあった。 て発案していると述べた。

のであって、教区間の全く の意見について、岡本知之 きというものであった。こ た。一つの極としては、 綻から新制度が模索された 判断、相互援助に委ねるべ 委員長は、従来の制度の破 ならないのか、教区の対応 方の時代が言われる時に、 否以前に、反応が両極化 何故中央集権化しなくては 共に祈り、支えよう!

自主的な対応に任せ、一切

Let us pray for and support people and the Church together!

「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体 的な取り組みを日本基督教団として支援していくた め、祈りと共に**「東日本大震災救援募金」**にご協力を 下さいますよう、お願い申し上げます。

目標額 10億円(国内のみ)

間 2011年7月1日~2015年3月31日

振替番号 00110-6-639331

加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金 〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

2012年3月

教団救援対策本部長 石橋秀雄

9項目 の具体的提言 伝道方策検討委員会

係など、関係諸団体との連

が、伝道する教団の働きに

他にも、資金運営を巡っ

こととなった。

(新報編集部報)

常議員会で継続審議される

言が多かった。この委員会

整えるという立場からの発

報告も、内容的には、次回

則反対論よりは、新制度を 指摘が多くなされたが、 見など述べられた。厳しい

携を強化する。

、インターネットによる

し、整理、調整する課題が

資するよう活動内容を確認

告」であった。 的議論に時間が割かれたの が「伝道方策検討委員会報 議場に、各教会ごとの詳 今常議員会において比較 会員に対する受洗率が3パ ーセントならば、現住陪餐

題されるものであった。

内

係幼稚園・保育園の今後の

伝道の推進

ある。

る「幼保一体化・子ども子 在り方を学ぶ。 政府が進め

ろから報告が始まった。 られ、データをビジュアル 細なデータが資料として配 率と、現住陪餐会員数の推 がら解説されるというとこ 住陪餐会員数から見た受洗 化したものが壁に映されな 主に報告されたのが、現 比較で、約一割減であると いて委員会から9項目の提 のデータをベースにし、続 いうことが報告された。こ 10年の現住陪餐会員数の また、2000年と20

教

教団内の伝道推進自主

熱(自主性)が必要である。 団体の活性化 伝道には情

立てをなす。

養成を行うために必要な手

養い、霊的で敬虔な牧師の

しを明確に語る説教力を

の対応を多角的に検討す

見極めるとともに、これへ

育て新システム」の内容を

の結集が大伝道命令への応

答となるよう、全国的に信

徒運動の展開を提案する。

伝道は神の業、祈りなくし

、信徒運動の全国展開

日を挟み、質疑が行われ

てなしえない。信徒の祈り

提言は「伝道方策検討委

員会としての基本提言」と

移であった。報告によると、

うことであった。 が55パーセントであるとい のであるが、現状は受洗率 会員数は現状を維持できる けて各教区・教会での伝道 委員会のもとに伝道推進室 を作る。「伝道資金」を設 伝道局の設置に向けて伝道 一、「伝道推進室」設置 、教師の人事の強化

園の支援体制構築

を念頭に置いた積極的人事 う地域の中核教会の活性化 団として教勢全体が奮うよ 、教会関係幼稚園・保育

> 動している自主団体と、 すでに伝道推進のために活

教会関 要な連携・協力を行う。

関係諸団体との連携強

野に入れ、小委員会の活動 教団全体の機構改正をも視 内容と洗い直しと活性化 一、現在の小委員会の活動

研修会開催を決定した。

一、教師養成と再生 罪と が出されたが、提言そのも るのではないか、伝道対象 言が少ない等の意見、質問 れ、提言についても教会学 にもネガティブな報告すぎ た。データに関し、あまり 員会報告が承認された。 ないのでは等の意見が聞か 者についてのデータが足ら のは一定の評価がされ、委 校や女性の活動に関する文

尚、幼保一体化に関する

放射能汚染から福島県下の

室長選任、議決機関なのか

これらの報告に対して、

執行機関なのか、室長の役

こどもたちの命を守るため

0

「とひつじキャンプ」第

教

開催される旨を報告し、こ 妙高高原YMCAにおいて

にて指名を受けた。

初動の

室長が次のように答えた。 割は、等の質問には、長崎

12月2日の対策本部会議

報

援金配分要綱(案)」の作成。

ることが報告された。

加藤誠担当幹事は、特に

第37総会期

15

害にい

委員会は協議を続け、

救援対策本部報告·震災対応

説明があった。 告書に沿って、まず概略の 専従者の人選・面接・会議 室」)室長として長崎哲夫教 部ニュースと緊急シンポジ が読み上げられた。対策本 ェクト小委員会委員として 師を選任。海外献金プロジ ウム記録集の発行。救援対 における提案。「被災教会支 主な活動として次のもの 救援対策本部報告の件で 雲然俊美書記から、報 えていきたい。「3・11 創立記念日には、「3・ 発送した。6月2日教団の りのしおり」を教団として 会議は少なくとも10日おき た。さらに11号室室長との を実施していきたいと述べ 園や保育園との担当者会を のキャンプの定期的な開催 今月中に設け情報交換を を推進していくこと、幼稚 246を覚えた礼拝」、 祈りのときをもつ予定であ に行い、現地のニーズに応

内藤留幸総幹事(左)、加藤誠担当幹事(中)から、 エマオ石巻の新専従者、藤村咸治氏(右上)が紹介された。

り継続した救援対策本部報

する議案が上程されて議場 の議案、教憲・教規に抵触

っている。

項目で、補正額も大きくな

支出となる。

|の減免額増加に伴い1万5

負担金収入は、関東教区

の常議員会活動、教区議長

補正された。

員会費、予備費等にて減額 会計監查委員会費、社会委

として、大震災対応のため

その他、実績による補正

会議開催、特設委員会新設

師養成制度検討委員会、会

から900万円に増額され

るよう求めた。前文取扱い

し、改めて文書で申し入れ については触れていないと

NCC負担金が350万円

また、12年度予算では、

は、先の答申で前文取扱い

解放センター運営委員長

(伝道方策検討委員会、教

済していく。 受け止めていきたい。しか プロジェクトについては決 済は対策本部会議にかけて が求められる決済を敏感に 執行機関として、スピード う思いがあり、引き受けた。 混乱を整備しなければとい いく。見通しが把握できる し、金額の大きいものの決 被災教会支援金配分につ

が出された。 うにしてほしい、支援する ら、教会の教勢を考えると の唯一の支援金であるか ほうが望ましいという要望 るよりは教会単位で集めた い、募金は個人に呼びかけ 教会名を明確にしてほし 最優先課題として宣教のガ いては、教会の再建のため イドラインを実践できるよ

金を予算化して教会総会で これに対して、献金・募

> があった。 なるはずであるという意見 決議している。それによっ て財政的な裏づけが明確に

瑞男予算決算委員長と監査 能幸氏は、長崎室長と伊藤 また、監査委員会の服部

は、対策本部で受け止める ことになった。 出した対策本部への提案書 と述べた。監査委員会が提 とした対応をしていきたい んで、厳密かつ明朗な決済 に至ることを目標にきちん

から、それぞれの状況につ 教区、関東教区、東京教区 その後、奥羽教区、東北

する信徒の方々の思いをく 対しては、50パーセントで 制度がなぜ必要なのか、と う案なのか、また貸し出し ての案なのか、それとも、 本当に再建ができると考え いう質問が寄せられた。 これしか支援できないとい いて報告がなされた。 「支援配分要綱(案)」に

| ところ15億4千500万円 全体的な被害額は、現在の 会堂・牧師館についての

百件ばかりの集落の

という回答があった。

勘案しながら、進めていく る。この案は一応のめどで のは7億円であり、これが あり、募金の集まり具合を 50パーセントの根拠であ 会堂・牧師館に充てられる に対して、募金11億の内、 と見積もられている。それ 以上、質疑を経て、 報告

ガイドライン」で踏み込んだ議論 宣教研究所委員会

のためのガイドライン」が、 教基礎理論を改訂するため れた。本ガイドラインは、 回、改めて提出され議論さ 前回の意見を踏まえて、今 た「『宣教基礎理論』改訂 1963年に採択された宣 の方向性を示そうとするも 4回常議員会にて報告され 宣教研究所委員会より第 ことを望んだ。 にあったのを示して「この の不徹底が自覚されたこと 教会議にて教団の福音把握 福音把握の課題は現在もな

のである。 宮本義弘宣教研究所委員

お続いている」とし、

| 長は、「ガイドラインを読む び」、『礼拝』である」とし、 この点に留意して議論する 上でのキーワードは『喜 究所発足が1953年の宣 また、委員長は、宣教研 宣教とは何か」、 の必要性を述べた。

っている問題を研究分析の

箇所を引用している。 さらに数項目にわけてテー の必要性」、「Ⅲ.宣教の可 ゼを示し、また必要な聖書 の標題を掲げ、それぞれを 能性」、「Ⅳ.宣教の内容」、 「V.宣教の方法」の5つ ガイドラインは、「I $\overline{\Pi}$. 宣教

道と教会の体質改善を柱と 道を否定することになる、 は、現行の理論を否定する め実践してきた教区から 宣教基礎理論は、伝道圏伝 との意見もあった。現行の ことは50年に亘る教区の伝 の宣教基本方針等を取り決 張する意見があった一方、 するが、特に後者には問題 現行の理論に基づいて教区 していることを評価する意 また改訂の必要性を主 改訂のための道筋を示

が多いとの意見、宣教と伝

は承認された。 (秋葉恭子報)

うのだ。村人にとって、 の帰郷は、正に、復興への第一歩が見

道の用法について宣教基礎

れた。また、ガイドライン 見、現行の理論がなお存続 論としてはどうかとの意 理論ではなく、伝道基礎理 の用い方はそもそも改訂の とが必要等の意見が述べら れを改訂して新しくするこ しているのであるから、こ えた思いなのだ。▼教団は議長を筆頭 りのことをして来た。今、 に、直ちになすべきこと、今出来る限

方向性を示すことが目的で る意見もあった。 逐語的にさらに変更を求め

申に概ね沿っていることが 確認された。但し、会計取 との通知を沖縄教区に送付 にてガイドラインに沿った た上で、宣教研究所委員会 て、今回の議論を受け止め て、石橋秀雄議長より、ガ イドラインの取扱いについ 約1時間ほどの議論を経 万円を日本キリスト教会館

(渡邊義彦報)

された変更案では、教区総 強工事実施を前提とする精 選出を定めている。 することを承認した。提出 問題小委員会では、現在地 簡易診断の結果、耐震精密 日本キリスト教会館の耐震 会議員に伝道所信徒議員の 診断が必要とされた。会館 留まり既存建物の耐震補 10年7~8月に行われた 各報告。嘱託幹事4名、非 承認した。出版局、年金局 れが受け入れられた場合、 が提案され可決した。 管理組合に申し入れること ることも提案している。 事については次の課題とす 管理組合負担とすることを 診断結果による耐震補強工 その他、以下をそれぞれ なお、管理組合に申し入

た教師転入。九州教区から

周辺に比べて異常に放射線値が高い、 30年以

郷・福島の村へ帰るこ 役場に採用されて、故 いる家の長男が、地方 公務員試験に合格し、 上親しくして とに目を向けた時に、これまで押さえ

ければ、地域は限界集落となってしま びだ。何故なら、この家は、集落で唯 複雑な思いで長男の帰郷を受け止める 所謂ホットスポットにある。▼家族は のお寺さん、ここに跡継ぎが帰らな とになった。この村は 入々は、大喜 僧侶の跡継ぎ 少し先のこ あるとの意見もあったが、 のの回復が、何よりも肝心なことだ。 教会も、未来に立ち向かう意欲そのも 護岸の整備、そして勿論船や網そのも 魂の過疎地にしてはならない。限界集 られてきた議論が、頭をもたげてきた 全く教会に重なって来る。▼漁業も、 のの修復、更に灯台…こう並べると、 はじめ、港の再整備なくしてあり得な の議論をする余裕などない。▼ところ を限界集落にしてはならない。信仰・ 境目もない。教会もお寺と同じ、地域 の復興なし」「教会の復興こそが地域の い。港湾内部の瓦礫撤去、堤防、埠頭、 で、津波被災地の経済復興は、漁業を 落の必死さに立てば、ためにする空中 復興に」▼本当は、両者の間に矛盾も、 ように思う。「地域の復興なくして教会 諸委員会にて草案について 一改訂草案作りに入り、関係 が提案され、これを承認し 出する方向性で進めること 7月、第6回常議員会に提 意見を反映させた草案を、 の意見を聴取した上、この

総会時 ・も議案整理委員会設置 第2次補正予算案可決

策基金に戻し、車両購入費、

土地建物取得費は資産取得

93万円増額された。 等により、事務費支出が3 問等交通費、什器備品費增

これら増額補正に対し、

入れたことを報告した。 扱い等について意見を申し 扱い基準の提出、前文の取

これに対し、東谷誠部落

円は積立金支出にて救援対

第 38

る。総会に提出された議案 議題が扱われた。 設置され今総会も同様とな 委員会は、37教団総会でも することが可決された。同 して議案整理委員会を設置 第8回教団総会開催に際

第 4743 号

告関連以外では、主に次の 助けることを委員会の設置 目的としている。同 連では、11年度第2次補正 め、議案整理を前もって行 が混乱することを防ぐた 予算を可決した。主な補正 承認を得て、議案の分割、 い議長に提案をする。 にて議場に提示し、議場の 本化、廃棄を実行する。 議長は、この提案を総会 次に、予算決算委員会関

訪問等により、総会関係費 また紀南教会の水害見舞 定福利費、退職金支出、国 館問題小委員会)等の支出、 金、南インド合同教会総会 た。規約変更は、35総会期 ることが報告された。 から検討結果が報告され 部落解放センター規約変更 について、岡本知之副議長 常任常議員会に付託した

対策本部会計から土地建物

入れ、同救援対策委員会会 期繰入れた5千万円の戻し 災救援対策委員会会計に前 千円減となる。東日本大震

計から車両購入費、同救援

となる。戻し入れた5千万

収入は計6、575万円増

申に基づいて認められない を文書にて申し入れること 10日付の信仰職制委員会答 沖縄教区から提出された 6百万円を教団負担、4百 万円を支出する計画で、内 密診断を行うことが最良と 診断実施のため暫定 1千 常勤幹事1名の12年度任 用。東京教区から推薦され

推薦された教師退任。

第 5 回伝道方策検討委員会

ひたすらに、伝道力の強化を願いつつ

施できる、権限と責任、そ 的な研究や計画を作成し実 めの予算を持ち、更に長期 取り組みをなす。伝道のた 室を設けて具体的な伝道の

して継続性をもつ部署の設

次に「教師の人事の強化」

「伝道推進室」設置

(3)

教

(火)、教団A会議室にて、

検討委員会が開催された。 第37総会期第5回伝道方策

常議員会への提言を取りま

今回の委員会では、主に

1月23日(月)~24日

第3%会期5回教師検定

向

準備を整える

第5回教師検定委員会

間日 名全員と担当幹事、担当職 委員会が2012年1月23 て行われた。出席は委員7 (月)、4日(火)の2日 教団 4階会議室におい 東野尚志委員長

|試験《学科試験2月28日 はヨハネ福音書11・25~27 た後、開会の祈りを献げた。 御言葉に基づいて奨励をし を朗読し、「わたしは復活で あり、命である」との主の 2012年春季教師検定 された釈義・説教、論文の であり、議事の中心は提出 京会場》を控えての委員会 (水) ~3月1日 (木) 東

採点結果の確認と学科試験 問題の作成である。 今回願書を受け付けた受

58名 (Cコース12名、Bコ 験志願者は補教師受験者が 可決した。 て審査し、全受験者に対し た。各々の受験資格につい て受験票を送付することを 止教師受験者が9名であっ ース14名、Aコース32名)、

春季検定試験に備えての実務に当たる

をこの度より実施する。第 4回委員会(2011年11 学した神学校卒業予定者に 、学部を経ないで大学院入 教師検定規則第4条3号

面接試験2月29日 容が通知されたことが事務 で受験者と神学校に認定内 者5名の履修認定科目をそ 月17日開催)において対象 れぞれ決定したが、同日付

> とを可決した。 どの資料に基づいて審査し 者が1名あり、教区推薦な に結果、転入試験を行うこ 教師転入(補教師)志願

の円を決定した。 なお、第4回委員会にお

果を確認し、再提出に関す

予定通り提出物の採点結

る要綱を決定した(提出締

さらに、試験実施に当たっ て具体的な委員の役割分担 し、それぞれを決定した。 受験費用援助申請は11件

あり、援助合計163、80

科試験問題について検討

学校、17教区に1冊ずつ送 手引き』の改訂作業を行っ に発行の運びとなり、6神 たが、2011年12月1日 付されたことが報告され

3月1日 (木) 15時~2日 (金) 12時に開催の予定。 次回委員会(第6回) (渡部和使報)

一切2月9日)。また、全学 いて『教師検定試験受験の

全国社会委員長会議の主題を決定 第4回社会委員会

催された。 会期第4回社会委員会が開 1月23日~24日、第3総 社会事業同盟2011年度 第3回理事会議案書に基づ

いて報告を受け、委員一同

た。主題を「3・11 日本

催)に関する件が協議され 012年7月23日~24日開

の諸報告を、大三島義孝幹 会報告、東日本大震災関連 事より添付資料に基づいて 23日は、業務報告、常議員 受けた。続いて、原田史郎 る礼拝をもって開会した。 新保能宏委員の司式によ 承認した。その他の報告と

委員より、日本キリスト教

告を受けた。 出席した芳澤信委員より報 5日~7日 沖縄開催)に 教者会議(2011年10月 して、第3回九条アジア宗

期全国社会委員長会議 (2| 協議事項として、37総会

更に乳幼児教育についての 的実施、相談窓口の設置、 幼稚園・保育園を支えるた 様々な課題に直面する教会 ある。幼保一体化をはじめ 研究会の発足をなす。 アップのための研修の継続 め、責任を担う者のスキル 保育園の支援体制構築」で 次に「教会関係幼稚園・

道委員会のもとに伝道推進 伝道体制を整えるため、伝 室』 設置」 である。 教団が 重要な提言は「『伝道推進 とめる作業を行った。最も

自主団体の活性化」である。 定の検討のための会議、あ

後地域の中核を担う教会の

教師人事が大切であるとの

もと相談室を設け、積極的 す。 人事を進めることを目指

解から「教団内の伝道推進 主性)が必要であるとの理 次に、伝道には情熱(自 伝道命令への応答となるよ い。信徒の祈りの結集が大 生まれるよう働きかける。 の再興と、各地で信徒会が う、教団として全国信徒会 祈りなくしてはありえな 開」である。伝道の推進は 神学校の認可の在り方など である。教師候補者の養成、 教師検定、教師の継続教育、 また「教師の養成と再生」 更に「信徒運動の全国展

化」である。「インターネッ トによる伝道の推進」も提 まとめ常議員会へ提言する 活性化」である。これらを

解を確認した。 があり、両委員会共通の理 として、「伝道推進室」の伝 道資金を考えている旨説明 機構」の資金の使途の一つ 活動連帯金検討委員長が陪 この他に、伊藤瑞男教区 検討中の「伝道資金

同承認した。

9月に沖縄フィールドワ

することにした。 を主題にした研修会を今夏 行うことを常議員会に提案 稚園・保育園のこれから」 尚、「幼保一体化と教会幼

頼することとした。その他、 災地で支援活動をしている 確認をし、担当者を決定し プログラムの詳細について 教団教師の方々に発題を依 社会委員会は、東日本大 祈り」とし、被 一く遂行していくことを確認 会としては、救援対策本部 の指示を受けて活動すると れにともなって、社会委員 が立ち上げられ、募金及び 東日本大震災救援対策本部 諸活動は一本化された。こ この他に、「現在の小委員

会の活動内容と洗い直しと

発行に関する協議を行い、 た。また、2011年度会 計報告及び2012年度予 算案について協議し、委員 記事の内容と担当を決定し 「社会委員会通信」第48号

ことにした。

2012年7月24日~25日 会にて行うこととした。 議し、事前研修を次回委員 に開催することを確認し、 - クを行うことについて協 最後に、次回委員会は、

震災の初期対応として、被 て募金を行った。その後、 災地の訪問、緊急支援とし 24日は、各教区から寄せ

に援助することを決定し 申請のあった5教区5施設 れの活動に思いを寄せて、 施設ごとに確認し、それぞ る、活動内容、経済状況、 の推薦書に記載されてい 設に届けてもらうこととし られた社会福祉施設援助金 推薦理由、会計報告を、一 各教区に送金し、各施

担任教師) 12年1月6日逝去、88歳。

川上朝恵氏(隠退教師) り総社教会を牧会した。遺 本女子神学校を卒業、47年 岡山県に生まれる。'45年日 族は弟・尾熊俊夫さん。 **倉敷西教会に赴任、**52年よ



善子さん(大久保教会主任 本聖書神学校を卒業、9年 まで大久保教会を牧会し、 東京都に生まれる。 18年日 隠退した。遺族は娘・川上 12年1月11日逝去、80歳。



ら76年まで在外)中目黒教

54年より96年まで(71年か

エール大学神学部を卒業、 インド)に生まれる。 5年 コルカタ(旧カルカッタ・

12年1月11日逝去、90歳。

会を牧会し、隠退した。遺

族は妻・武間喜美エルシー

集会準備、実務、学び、盛りだくさんの委員会活動



佐藤 進

小椋実央 (2011-12-5受按)

尾熊芳子氏(総社教会主任

THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

正教師登録

竹田常司、筒井省行、 村上和範、米山恭平、 大住共平、久下倫生、 大澤正芳、大澤みずき、 五十嵐悦子、五十嵐高博、 (2011:12:6受按)

矢吹大吾 (2011:12:11受按)

台湾基督長老教会での宣 ◇公募◇

ブ台湾(6/27~7/4) 教体験プログラム、アイラ ◎内容 現地各個教会の 子供青年向け夏期学校 に参加する、要英語力、

◎問合先 台湾協約委員 、必着)、書類選考あり

会(03-3202-

◎応募期限 4月13日

◎旅費補助 教団より半



◆読者アンケート「3・11後を生きる私たちの信仰」集計

」思わず祈った生々しい証言の数々

の予想を紹介。今後の少子

って話し合われた。

(西中国教区宣教研究会報)

局齢化は、教会においては、

▼「神さま!

▼写真記録で見る3・11とその後

被災地の教会・信徒・牧師は、東日本大震災をどのように迎 円(売上の一部を「東日本大震災救援募金」へ寄付致します)

えその中を生きたのか-

席者は90歳、80歳の男性会ですが、当時、礼拝出

聖書のテキストに密着せよ。そ



大月新生教会(東海教区山梨分区)

『信徒の友』別刊

*3月7日刊行

*信徒の友編集部編

*税込1、680

その時、教会は一

3・11後を生きる

《出版局・新刊ニュース》

この教会は83年の歴史のある教

教会を担任することとなりまし 08年7月より山梨県の大月新生 主のくすしき御導きにより20

①桑田秀延学長

ていたではないか。』(ルカ2・3) 会衆に御言葉を伝えることが出来 という経験をせずして、どうして に打たれ、『わたしたちの心は燃え 備をする時に、自分自身、御言葉 れ説教をするようになる。その準

②北森嘉蔵先生 迫ってくる言葉です。 も説教を準備する時、 いつもわたしの胸に としている若者が、教会の門を叩 を持って社会のリーダーとなろう /はずがないのです。

教

この言葉は、現在で

「君たちは、やがて教会に遣わさ

主の召しに応えて

伝道のときしび

最善の牧会は説教である

舩戸 良隆 大月新生教会牧師

で行く有様でした。

お言葉ではなく、わたしが神学牛

この言葉は、北森先生の直接の

したが、まさにそれを地 い)ということを聞きま る(会衆が一人もいな 代、壁に向かって説教す 2人でした。神学生時

わたしは3人の恩師から、説教 外にはありませんでし も養われる、このこと以 神学校の恩師に教えて って会衆も説教者自身 頂いた「御言葉(説教) 道してゆくか、40年前、 にあって、どのように伝 に命をかける」それによ このような状況の中

について次のような教えを受けま

教」の貧困にあると言わざるを得 そのもっとも大きな原因は、「説 れています。その原因はいろいろ と分析されていますが、わたしは、 ってのほかと身にしみています 現在、教勢が振るわないと言わ

です。 生まれて来るはずはないし、責任 を担ってゆく」若者は、教会から 他にない、これが、わたしの確信 へと駆り立てる」のは、「説教」 (講演ではなく) 御言葉をおいて 真に「人を生かし、伝道(行動) 御言葉に生かされずして「歴史

③熊野義孝先生 ことです。 時代、出席教会で先生から学んだ

月30日から31日にかけ

社会以上に加速化されるだ

の甘い言葉で補おうなどとは、 です。説教の足りない分を会員 畏友椿憲一郎牧師から聞いた言葉 この言葉は、熊野先生の弟子、 最善の牧会は、説教である」

研究協議会が行われた。今 見る10年後の教区・教団の テーマが「教勢データから 回は、西中国教区の担当で、 49回西日本五教区合同宣教 者と教団宣教研究所からの 区、九州教区の宣教研究ま った。東中国教区、四国教 姿-西中国教区から」であ て、福山東教会を会場に第 たは教師部の委員会の代表 った。 何か」ということを考える 援助をはじめ、各援助で教 ことが求められると話があ ろう。その中で「教会とは より、教区として謝儀互助 もゆる西中国教区総会議長 区内の教会を支える活動を し、またその充実に力を注 講演の応答として、

中国教区宣教研究会委員長 沖縄教区からは欠席の連絡 があった。 参加があった。残念ながら はじめに、西間木公孝西 からの相談に乗ってきた。 人事の紹介をはじめ、教会 いでいる。また教区として、

者が、宣教について率直に 五教区の宣教研究に携わる より「この会は、西日本の った。 支えていきたいと応答があ 教区はできる限り、教会を

長より今回のテーマの主題 話し合いたい」と挨拶があ えて、宣教の課題について 紛争の中でも行われてきた のが残念である。沖縄から からの参加がここ数年ない ら教団の教会の現状と将来 講演があり、教勢データか 会だけに教団政治の場を越 の参加を心から願う。 教団 話し合える場である。沖縄 その後、西間木公孝委員 の課題とこれからの宣教に があった。いま抱える宣教 ためのガイドラインの報告 の紹介、教団宣教研究所か のではと応答があった。各 御心と信じ、その後の世代 をして、もし継続できない ち込む中で伝道、伝道とい 関することが2日間にわた ら「宣教基礎理論」改定の 教区の宣教研究の取り組み ならそのときはこれも神の 応じてそのときできること うのは違う、教会は時代に にバトンを渡すこともある 参加者からは、教勢が落

もない。

の会長でもある。

んは、荒浜地区の少年野球チーム

この地区の代表者の菅原忠夫さ

報告



第49回 西日本五教区合同 宣教研究協議会

はっきりと、メッセージそのもの

を言う必要はない。単純、明快に のメッセージは何か。多くのこと か、その箇所でしか聞けない福音 の箇所のメッセージが何である

に的を絞って伝えよ」。

柴田もゆる西中国教区総会議長から の応答と参加者

奉仕されている。

きへの神からの招きを聞いた。 めに歌う者と変えてください。

17年前の1月17日早朝に神戸

そして「もし、もう一度歌うと 音楽を専攻し、やがてNHKニ 出なくなる経験をする。回復を た。そのような折、突然に声 レビ歌のお姉さんやミュージカ 水めて祈る中、主を証しする働 ルなどで活躍するようになっ うだった祐理さんは、

大学でも しができるのなら、あなたのた 小さい頃から歌うことが大好

のではないか。日本基督教団の 毀会・集会にも数多く招かれ となり、命を落とした。今振り どの使命が与えられ、「痛みに届 きたい」と祈り願いつつ、一つ 国際飢餓対策機構の親善大使な の痛みに気づ 返って「心に んが倒壊したアパートの下敷きを襲った激しい地震、弟の渉さ コンサート、 島・新潟など った」と語る。それ以来、台湾 それによって、 し続けている。 つの働きを通して主の愛を証 釧路・中国四川省・スマトラ 刑務所慰問、日本 内外の被災地での かされるようにな 穴が空いた。でも 心に穴をもつ人

歌の救援物資を届けている。

んでください」との祈りと共に、

の歩みと重ね合わせ、「喪失の先

主に導かれてきた自身の信仰

教会、いわき市民クリスマスな

ど50箇所以上の東日本大震災被

、地で、「主よ、

日本をあわれ

国後は避難所慰問へ、さらに日 波の映像に涙しつつ祈った。帰 湾滞在中にテレビから流れる津 そして1年前の3月11日、台

集会で、世界伝道への召命を共

台湾・韓国の青年も参加する同 会後援)の中で主を証しする。 教育委員会・伝道方策検討委員 生・青年大会2012」(教団

本年8月21日には「教会中高

キリスト教学校での伝道コンサ

を信じ、証を携えて教会や 新しい主の道が開かれるこ

トでも奉仕する。

図体のコンサートで**、**祐理さん に出会ったことのある人も多い 教会やキリスト教学校、各種

祐理さん

あなたのために歌う ものへ



クリスチャン・アーティス 。 単立ニューライフキリス ト教会員。

Ունա (Միր Ունա Միր Ունա

「クリスマス の御言葉一つ言っ この地域の代表者の挨拶が心に

東北教区エマオのセンターから

仙台の七郷地区へのボランティア は難しい、もちろん宗教はとんで を派遣しつづけている。非常に保 守的な地域で、外部から入ること てくれる。 大きな声で少年たちが聖書の言葉 「あなたがたけ イエス様の御言葉だ は地の塩である」。 沁みた。 行くまで付き合いたい」。 いけれど、キリストさんとは墓に

「わたしはキリストさんではな

おキ 墓 ま ス トさんと

り、改めて、エマオの働きに感謝 域に受け入れられていることを知

エマオの活動が、このように地

昨年のクリスマス、エマオで3 ラして見ていた を言ってくれた。 同行の教団の幹事たちはハラハ

頼に応えて行く責任を痛感した。

それと共に、この菅原さんの信

の少年たちと保護者の前で行った 2箇所のグラ ンドで、4チー

わたしは腹話術でクリスマスの シリスマス会だ

球チームの少年たちのためにクリ

スマス会を行った。

00個のプレゼントを作って、野

言える活動をなして行きたいと決 意を新たにしている。 最後は教団、最後まで教団」と

教団総会議長 石橋秀雄)